

「ふくしま。GAPチャレンジセミナー2023」を開催します。

福島県では、農産物の安全性の見える化であるGAPの導入を推進する「ふくしま。GAPチャレンジ」に取り組んでおり、現在（令和5年10月末）、750を超える農場がJGAPやFGAP等の取組を実践しています。

今後、団体認証の推進等によりGAP認証取得を加速させるとともに、GAP実践による農業経営の改善を図り、地域での取組や新たな流通を推進するため、本セミナーを開催します。

記

- 1 日時 令和6年1月22日（月） 13:15～17:00
- 2 場所 福島テルサ FTホール（福島市上町4-25）
- 3 主催 福島県、福島県農業協同組合中央会
- 4 参集 生産者、実需者、高校・短大生、関係団体等（約150名）
- 5 内容

(1) 基調講演

- ・演題：「SDGsの目指す世界とGAPの役割」
- ・講師：SDGパートナーズ（有）代表取締役CEO 田瀬和夫氏

(2) なすびのリアルGAP探検隊※「GAP取得のメリットの謎を解く」

- ・講演・聞き手：タレント なすび氏
- ・話し手：れぎゅーむれぎゅーむ（JGAP／トマト等）
五箇沃野の会（JGAP／米）
会津永島オーガニックファーム（FGAP／ねぎ等）

※タレントなすびさんがパーソナリティーを務める「進め！GAP探検隊（ラジオ福島で月1回放送中）」がスタジオから飛び出しリアル開催します。

(3) 生産者と実需者をつなぐ事例報告

- ・報告1 「生産者の活動や思いを届ける、諸国良品とGAPの取組」
株式会社良品計画
- ・報告2 「未来を耕す『GAP×ジモノミッケ！』」
TOPPAN株式会社

(4) その他

- ・プログラムの終了後、株式会社良品計画及びTOPPAN株式会社との名刺交換、県によるGAPに関する相談会を実施。
- ・GAPのPR等動画の上映

6 一般参加の申し込み

特設サイトによりお申し込みを受け付けています。

<https://gap-fukushima.jp/seminar/>



7 取材について

当日取材を希望される場合は、下記の必要事項を記入の上、メールで環境保全農業課あてお申し込み願います。（申込締切：令和5年12月27日（水））

- ・社名、記者名、連絡先（当日連絡ができるもの）。
 - ・取材方法（ペン、スチール、ムービーの別と人数）
 - ・メール送付先：kankyouhozen_nougyou@pref.fukushima.lg.jp
 - ・メールのタイトルを「GAPセミナー取材申込（社名）」としてください。
- なお、変更が生じた場合は、環境保全農業課あてメールでご連絡ください。

（お問い合わせ先）
農林水産部環境保全農業課 主幹 岩沢 正浩
電話 024-521-7350（内3174）